

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	e-コマース I	(NGM200)
講義名 (コード)	e-コマース I	(NGM200X)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年 2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数 2
授業担当者	金井 翼	時間数 30
成績評価教員	金井 翼	講義期間 春学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	電子商取引の知識や技術を身に付け、生徒一人一人が収益を生み出すネットショップの運営、起業ができるレベルを目指す。
全体の内容と概要	ネットショップ検定（ネットショップ実務士）レベル1と2の内容と実例を使い、物品やサービス、デジタルコンテンツ販売の実践的な学習をしていく。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	ネットショップのビジネス環境が理解できるようになる。	インターネットメディアの動向とインターネットビジネスの動向を解説する。
2	小売業の分類と特徴が理解できるようになる。	小売業の分類と主な小売業の業態別の動向を解説する。
3	ネットショップの位置づけを理解できるようになる。	電子商取引の定義、種類、規模を解説する。
4	ネットショップと実店舗を理解できるようになる。	ネットショップとは？実店舗と融合するには？を考える。
5	ネットショップの動向が理解できるようになる。	海外のネットショップ市場と日本のネットショップの動向、知っておきたいネットショップを解説する。
6	ネットショップの出店形態と特徴が理解できるようになる。	日本のオンラインサービスとモバイルショッピングサービスを解説する。
7	ネットショップ実務の共通知識が理解できるようになる。	商取引及び商材に関する法規と情報セキュリティ対策の重要性を解説する。
8	ネットショップ事業の準備が理解できるようになる。	ターゲティングと顧客ベネフィットについて解説する。
9	ネットショップの制作について理解できるようになる。	トップページの必要要素と商品ページ、写真、基本情報について解説する。
10	セールスライティングについて理解できるようになる。	セールスライティングとコピーライティングの違いを解説する。
11	ネットショップのプロモーションが理解できるようになる。	独自ドメイン店とオンラインモールのプロモーションを解説する。
12	ネットショップの運用について理解できるようになる。	運営、制作、プロモーション、マネジメントの各担当者の業務について解説する。
13	これまでの授業の理解度を知ることができる。	総合演習として『ショップ（お店）を開店する』をテーマに前期授業の最終回にプレゼンするので資料などの制作。
14	これまでの授業の理解度を知ることができる。	前回の続きでプレゼン資料などの作成。
15	卒業制作のプレゼンの練習ができる。	一人10分以内の持ち時間でプレゼンをし、意見交換や批評をする。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	ネットショップ検定公式テキストレベル1
参考文献・資料等	なし
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	IT検定対策Ⅲ		(NGM20S)
講義名 (コード)	IT検定対策Ⅲ		(NGM20SX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	金井 翼、吉澤 隆一	時間数	30
成績評価教員	金井 翼、吉澤 隆一	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	仕事で必要とされるITの知識を深める。ITパスポート試験に合格する。
全体の内容と概要	ITパスポート試験の出題範囲に基づいて知識や考え方を身につける。仕事現場での知識活用を関連づける。
授業時間外の学修	ITパスポート試験の過去問の学習、受験
履修上の注意事項等	ITパスポート試験の受験必須

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれぞれに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	用語と概念の理解ができる	テクノロジー系：情報デザイン、情報メディア
2	データベースを使うことができる	テクノロジー系：データベース 実習1
3	データベースを使うことができる	テクノロジー系：データベース 実習2
4	データベースを使うことができる	テクノロジー系：データベース 実習3
5	用語と概念の理解ができる	テクノロジー系：コンピュータ構成要素、システム構成要素、ソフトウェア、ハードウェア
6	用語と概念の理解ができる	テクノロジー系：ネットワーク、セキュリティ
7	用語と概念の理解ができる	テクノロジー系：基礎理論、アルゴリズムとプログラミング 実習1
8	簡単なプログラミングができる	テクノロジー系：基礎理論、アルゴリズムとプログラミング 実習2
9	簡単なプログラミングができる	テクノロジー系：基礎理論、アルゴリズムとプログラミング 実習3
10	簡単なプログラミングができる	テクノロジー系：基礎理論、アルゴリズムとプログラミング 実習4
11	簡単なプログラミングができる	テクノロジー系：基礎理論、アルゴリズムとプログラミング 実習5
12	用語と概念の理解ができる	マネジメント系：システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査
13	用語と概念の理解ができる	ストラテジ系：企業活動、法務
14	用語と概念の理解ができる	ストラテジ系：経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ
15	用語と概念の理解ができる	ストラテジ系：システム戦略、システム企画

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報			
科目名(コード)	SEO		(NGM20N)
講義名(コード)	SEO		(NGM20NX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	吉田達矢	時間数	30
成績評価教員	デザインルームEM	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	SEOと検索広告の役割と正しい知識の習得
全体の内容と概要	SEOの知識とその管理の仕方を実例を見ながら教えます
授業時間外の学修	とくになし
履修上の注意事項等	とくになし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	テストを行い、SEOの役割と用語などの理解を評価		
評価基準	知識(期末試験点) 60%	自己管理力(出席点) 30%	協調性・主体性・表現力(平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	SEOってなにかの認知	言葉の意味の説明 日常生活では無縁の言葉だが、日常生活ですごく深く、広く使われている ことの共有
2	SEOの歴史と意味の理解	いつから始まったのか なんで普及したか
3	Googleが決めるSEO	Googleがルールをつくり、NGを決める NG判定について
4	ビックキーワードの理解	ビックキーワードとはなにか? ビックキーワードをみつける
5	検索広告とSEOの関係の理解	検索したら出てくる広告のしくみ
6	SNSのSEOについての理解	SNSにもあるSEOはハッシュタグ どんなハッシュタグをつかってる?
7	ハッシュタグの理解	ハッシュタグ最適化とSEOのビックキーワードの関係
8	中間まとめ	前期の振り返りして、今までの授業の振り返りとまとめ
9	WEBマーケティングとSEOの関連性の理解	WEBマーケティングとSEOの関係について 両方をどう連携するか
10	ブランディングを考えたSEO	ブランディングを踏まえたキーワードとは どんなお客さんに来て欲しいかを考える
11	SEOのNG例の共有	SEOの黒歴史の実例紹介
12	SEOの評価測定ツールの理解	Googleが提供するサーチコンソールの説明 なにができるのか
13	実際のデータの内容の理解	Googleが提供するサーチコンソールの説明
14	実例紹介	実際のサイトのデータを見ながら、評価分析を行う
15	前期最後のまとめ	前期の振り返りと試験について

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	特になし(後期では導入予定で現在策定中)
参考文献・資料等	実際のデータ、NBLのWEBサイトデータ
備考	NBLさまのWEBのアクセスログの共有

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	UX/UIデザイン I		(NGM20I)
講義名 (コード)	UX/UIデザイン I		(NGM20IX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	水野泰雄・長谷川 胖	時間数	30
成績評価教員	水野泰雄・長谷川 胖	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	これからの時代に必要なUX・UI (User Interface・Experience)の概念とマーケティングデザインを理解する
全体的内容と概要	UI・UXを通じてマーケティングとユーザー・コンシューマ・ステイクホルダーの関係を学びながらマルチデバイス時代の撮影も実践・理解する
授業時間外の学修	マーケティングを意識して世の中を見て、疑問を持ちそれらの課題を探す
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。

	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	マーケティングて何かの理解	マーケティングの説明 企業におけるマーケティングとは
2	企業のマーケティングの重要性を理解する	マーケティングに執拗な事柄 企業の理念 社員の意識 企業のあり方
3	マーケティング理解と種類の理解	マーケティング制作の実例から学ぶ 各種のマーケティングの説明
4	マーケティング理解とやらなくてはならない事を理解する	マーケティング制作の実例から学ぶ Y企業のサンプルから学ぶ
5	マーケティング理解とガバナンス・コンプライアンスについて理解する	マーケティング制作の実例から学ぶ Y企業のサンプルから学ぶ
6	マーケティング理解と実践準備 ガバナンス・コンプライアンスの書類等の制作	マーケティング制作の実例から学ぶ サンプルを見て 制作する
7	マーケティング理解とUX・UIの考え方と必要名事を勉強し理解する	UserはWebサービスやWebサイト、アプリケーションやソフトウェアの利用者を指します。ユーザーの満足度に大きく関わる 考えずに操作させるのがUI・UXの理想
8	マーケティング実践マーケティングプランの制作企画書の作り方	テーマを検討・何が必要かを検討・企画・ マーケティングプランの制作に必要な手順
9	マーケティング実践マーケティングプランの制作する事によって必要事項が解る	制作 企業理念・ガバナンス・モディベーション・リコグニション・
10	マーケティング実践マーケティングプランの制作で分析能力を勉強する	制作 UI・UX SP・プロダクト・スペース・etc.
11	マーケティング実践マーケティングプランの制作によってプレゼンテーションの勉強	制作 UIやUXが重要視される理由
12	マーケティング実践結果発表 自分で考えた事をかたちにしプレゼンする能力の勉強	発表されたものを全員で検討
13	マーケティング実践結果発表 他の協力者との意思疎通	発表されたものを全員で検討
14	マーケティング実践結果発表 自分の考え・他人の考えの理解力	発表されたものを全員で検討
15	結語	生徒全員でUI・UXの重要性を振り返り確認する

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
-----	--

参考文献・資料等	実際に制作したプラン・PV・印刷物等
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	WebデザインⅢ		(NGM20A)
講義名 (コード)	WebデザインⅢ		(NGM20AX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	水野 泰雄・水野 翔	時間数	30
成績評価教員	水野 泰雄・水野 翔	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	有限会社デザインルーム エム所属	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	Wordpressを使ってホームページ作成のデザイン・制作・アップロードを実践する
全体の内容と概要	実際のお店や企業を想定して、企画からデザイン・制作・アップロード・管理を覚える
授業時間外の学修	1年次に作成したMywebページを随時更新管理
履修上の注意事項等	上田商工会議所のSNS・webサイトとの授業連動(予定)

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	html・CSSの基礎を再確認	1年次のhtml・CSSの基礎のおさらいと疑問点の解消
2	Wordpressを覚える 1	Wordpressとは～基礎と出来ることを確認
3	Wordpressを覚える 2	Wordpressの環境設定とツールの確認
4	Wordpressを覚える 3	Wordpressの環境設定とツールの基礎勉強
5	Wordpressを覚える 4	Wordpressの環境設定とツールの応用
6	Wordpress実践編 1	実際のwebでWordpress管理画面などから学ぶ
7	Wordpress実践編 2	Wordpressのトラブルシューティング
8	自分サイトを作成 1	自分自身のサイトまたは企業・商店を作成のための準備するものを学ぶ
9	自分サイトを作成 2	サイト作成と導入後に必要な初期設定
10	自分サイトを作成 3	サイトアドレスやブログ名・パーマリンクを設定
11	自分サイトを作成 4	プラグイン導入や固定ページを作成する
12	自分サイトを作成 5	プライバシーポリシー・問合せフォーム・サイトマップを作成する
13	自分サイトを作成 6	Googleアナリティクス・サーチコンソールを導入する
14	まとめと解説	Wordpressの疑問点を解消して運営方法を考える
15	まとめと解説	みんなでディスカッション：後期の準備

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	上田商工会議所のSNS・webサイトとの授業連動(予定) 担当教員はWEBデザインの実務経験を活かし、WEBデザインの構築の基礎から実践までを体系的に指導する



1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	Webマーケティング実践 I		(NGM20C)
講義名 (コード)	Webマーケティング実践 I		(NGM20CX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	吉澤 隆一、金井 翼	時間数	30
成績評価教員	吉澤 隆一、金井 翼	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	有限会社デザインルーム エム所属	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	企業におけるマーケティングを実践する。企画から実行、評価までの一連の流れを理解できる。
全体の内容と概要	企業の課題からマーケティング施策を立案、実行する。
授業時間外の学修	オンラインの活動
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれぞれに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	課題を考えることができる	課題探索 企業活動
2	解決策を立案できる	解決策を探る 仮説構築1
3	解決策を立案できる	解決策を探る 仮説構築2
4	ヒアリングができる	事業者の課題 ターゲットへのヒアリング
5	マーケティング活動の計画策定ができる	マーケティング活動の計画
6	マーケティング活動が実行できる	マーケティング活動の実行 作業
7	マーケティング活動が実行できる	マーケティング活動の実行 作業
8	活動の評価、計画の修正ができる	中間評価、計画修正
9	マーケティング活動が実行できる	マーケティング活動の実行 作業
10	マーケティング活動が実行できる	マーケティング活動の実行 作業
11	活動の評価、計画の修正ができる	中間評価、計画修正
12	マーケティング活動が実行できる	マーケティング活動の実行 作業
13	マーケティング活動が実行できる	マーケティング活動の実行 作業
14	活動をまとめた資料作成ができる	活動評価、まとめ
15	活動内容をプレゼンすることができる	活動結果プレゼン

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	担当教員はWEBマーケティングの実務経験を活かし、企業の課題設定からマーケティング施策の立案まで実際のワークを多く用いながら体系的に指導する

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	キャリアデザインⅢ		(NKT23H)
講義名 (コード)	キャリアデザインⅢB		(NKT23HB)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	高木 良幸	時間数	30
成績評価教員	高木 良幸	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	キャリアコンサルタント・公共職業安定所勤務経験	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	自分自身の専門学校生活や職業人生、キャリアについて自らが主体となって構想し、実現することを目指す。社会人として必要とされるマナーを習得する。⇒企業で活躍できる人間形成
全体の内容と概要	講義と演習により、就職内定へ向けて実践的なマナーやスキル、企業研究、職種研究、インターンシップの活用を通じてマッチング方法を習得する。
授業時間外の学修	インターンシップ、合同企業説明会 & 面接会参加 (WEB含む)
履修上の注意事項等	主体性をもって、授業に取り組む姿勢、就職に意欲的に取り組む姿勢。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容	
1	授業内容の理解 進路手帳活用方法理解	【オリエンテーション】講師紹介 前期の内容について説明	【演習】進路手帳記入活用
2	就職情報の入手方法と活用について 理解する	【企業情報収集方法】キャリアスUCエン トリー、マイナビ活用方法説明	【演習】キャリアスUCエントリー、マイ ナビエントリーと活用
3	就職活動スケジュールの理解就職活 動計画作成	就職活動スケジュール説明 就職に必要な書類、スキル、準備物	【演習】就職活動スケジュール作成 (シート記入) 就職に必要な書類、スキ ル、準備物チェックシート記入
4	自己紹介ができる	【自己理解】自分の長所、短所、内的・ 外的キャリアを考える方法	【演習】自己紹介文作成と発表
5	他人の紹介ができる	【他者理解～自己理解】他者の良い所を 見出し、自己理解、自己PR書作成に生か す。	【演習】自己紹介文の修正と発表
6	自己PR書が書ける	【自己PR書とは】自己紹介、他者から見 た自分の長所から自己PR書に落とし込む	【演習】自己PR書作成 200字～400字程度、提出
7	雇用状況、企業について理解する	【企業を選ぶ視点】企業を選ぶ6つの視 点を知り、志望する企業を選択	【演習】企業研究 進路手帳ワークブ ック利用
8	仕事（職種）について理解を深める	【仕事理解】どんな仕事があるか？どん な仕事に興味があるか？どんな会社か？	【演習】興味がる仕事、会社の研究シー ト作成（進路手帳）
9	面接の基本知識を理解する	【面接に行くためには】準備とマナー、 ポイントについて	【演習】面接に向けた行動計画と準備、 行動計画表作成（進路手帳）
10	面接の受け方、マナーを理解する (1)	【面接について】基本スキルの確認 集団面接、個別面接、グループディスカッション	【演習】面接演習 スーツ着用 学生同 士
11	面接の受け方、マナーを理解する (2)	【面接】悪い面接マナー説明 服装、挨拶、言葉遣い、姿勢	【演習】面接演習 スーツ着用 学生同 士
12	面接のテクニックの習得	【面接】良い面接マナーと悪い面接マ ナー復習 評価項目について	【演習】面接演習 スーツ着用 学生同 士で評価、講評する
13	インターンシップについて理解する	【インターンシップ】企業選定、企業へ の応募、連絡方法について	【演習】インターンシップ計画表作成 (進路手帳)
14	まとめと対策	【テスト】記述式	【演習】挨拶状作成（進路手帳）
15	まとめと対策	【テスト F.B】	

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	留学生：『留学生のための就職内定ワークブック』（一般社団法人留学生支援ネットワーク） 日本人：就職内定基本テキスト（日本能率協会マネジメントセンター）
参考文献・資料等	なし
備考	担当教員はキャリアコンサルタントとしての実務経験を活かし、就職内定へ向けての実践的なカリキュラム運営を行う

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	グーグルアナリティクス概論 I		(NGM20K)
講義名 (コード)	グーグルアナリティクス概論 I		(NGM20KX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	吉田 達矢	時間数	30
成績評価教員	吉田 達矢	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	WEBマーケティングSEOの実践には欠かせないアクセスログ、  SNSのインサイトログの役割と概要を理解する
全体の内容と概要	前期は、生徒にとって身近なインスタグラムなどのSNSのインサイトログをベースに説明。アクセスログの意味と役割の認知を上げる
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	テストを行い、アクセスログの役割と用語などの理解を評価		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれぞれに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	アクセスログ存在の認知	みなさんの行動の記録がマーケティングデータになること どこまで知られているのか、知ることができるのか
2	専門用語の理解	リーチ、インプレッション、エンゲージメントなどアクセスログに出てくる専門用語の意味の説明
3	アクセスログの評価の理解	何をみて、判断するのかの説明 評価の結果はなににつかうのかの説明
4	SNSのインサイトの理解	Instagramではインサイトと呼ばれる 自分のアカウントのログの見方
5	改善方法の理解	もっと多くの人にみってもらうためにはどうするか？ もっと見て欲しい人にみってもらうためにはどうするか？
6	ハッシュタグツールの共有	ハッシュタグツールを使って、アクセスの多いハッシュタグをする これもアクセスログ解析ツールの一つ
7	実践して結果判断する	先週の授業の後で改善策を行なってどう変わったか、各自発表
8	中間まとめ	前期の振り返りで、今までの授業の振り返りとまとめ
9	各種アクセスログツールの共有	いろいろなアクセスログ解析ツールの紹介 適所適材を説明
10	競合他社のデータを知るツールの共有	自分が管理していない会社や商品のWEBサイトの様子を見ることができる それでわかること
11	SEOとの関係性の理解	SEOとアクセスログは切ってもきれない中の理由
12	WEBマーケティングとの関係性の理解	WEBマーケティングツールとして、一番つかわれるのがアクセスログ アクセスログが読み取ってマーケティングする
13	実際の事例紹介	講師の管理するサイトをベースに説明
14	実際の事例紹介	講師の管理するサイトをベースに説明
15	前期最後のまとめ	前期の振り返りと試験について

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	講師の実際の業務の中で守秘義務に触れない範囲のものを適時提供
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	グラフィックデザイン応用 I		(NGM20G)
講義名 (コード)	グラフィックデザイン応用 I		(NGM20GX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	水野 泰雄・水野 翔	時間数	30
成績評価教員	水野 泰雄・水野 翔	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	有限会社デザインルーム エム所属	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	ポスターやチラシ・カタログ・webデザインを制作して学び、実際の商材を作成します。
全体の内容と概要	Adobe Illustrator・Photoshopを使い、広告制作全体を覚える。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	上田商工会議所のSNS・webサイトとの授業連動(予定)

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	広告作成の手順を覚える 1	クライアントのからの要望から制作・完成について実際の広告で学ぶ
2	広告作成の手順を覚える 2	実際の印刷物で広告作成の流れを本物のデータを見せながら解説(ラフから完成データ迄)
3	広告デザインの基本を覚える 1	グループまたは個人で制作を決めるデザインワークディスカッション
4	広告デザインの基本を覚える 2	決めたデザインでラフデザインワークディスカッション
5	広告デザインデータの作成を覚える 1	ラフデザインからデータ作成の手順を決めて作成
6	広告デザインデータの作成を覚える 2	直しを前提にスムーズなデータ作成を実践
7	広告デザインデータの実践 1	Adobe Illustrator・PhotoshopのTips～新機能説明や質問
8	広告デザインデータの実践 2	データ作成の作成～質問
9	広告デザインデータの実践 3	データ作成の作成(完成したら次のデザインに挑戦)～質問・相談
10	今のデザインの現状を知る	商品や商材を見てUXやUIの基本を知り、その現状を認識していく
11	広告デザインデータの実践 4	データ作成の作成(完成したら次のデザインに挑戦)～質問・相談
12	広告デザインデータの実践 5	データ作成の作成(完成したら次のデザインに挑戦)～質問・相談
13	試験対策	Adobe Illustrator・Photoshop認定試験に向けて～おさらい～質問・相談
14	まとめと解説	完成制作物のプレゼンテーションと寸評
15	まとめと解説	完成制作物のプレゼンテーションと寸評と後期に向けての方針

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	Adobe Illustrator・Photoshopなどの認定試験(予定) 担当教員はWEBデザインの実務経験を活かし、デザインを覚えてAdobe Illustrator・Photoshopを駆使し商材作成を作成できる人材の育成を行う